

義歯構造設計・製作の第一人者による「Cast Denture」の集大成

『“創” 義歯の時代 Denture Designer への道 T.K.Design 三角理論』を読んで

日本アンチエイジング歯科学会 会長
松尾 通 Toru Matsuo



川島 哲 著
B5判カラー／178頁
定価：8,800円
(本体 8,000円+税10%)
医歯薬出版株式会社 刊

「かじかみて貧しき人の義歯作る」

三鬼

この俳句を詠んだ西東三鬼（1900～1962）は、1930年代から新興俳句の旗手として活躍し、現代俳句に大きな影響を与えた。歯科医師を生業とした俳人西東三鬼は、現在でも高い評価と人気を得ている。

この句に見られるように、少し前の時代まで、歯科医師の王道は義歯を中心とした補綴学であった。

時は移り、現在歯科補綴、特に義歯の分野は危機的状況にある。何故か？

歯科医療全体の置かれている状況、社会構造の変化、疫病構造の変化が根本にある。それに加えて歯科医師の義歯軽視、深刻な歯科技工士の不足、そして国民の理解不足などが負のスパイラルを作っている。

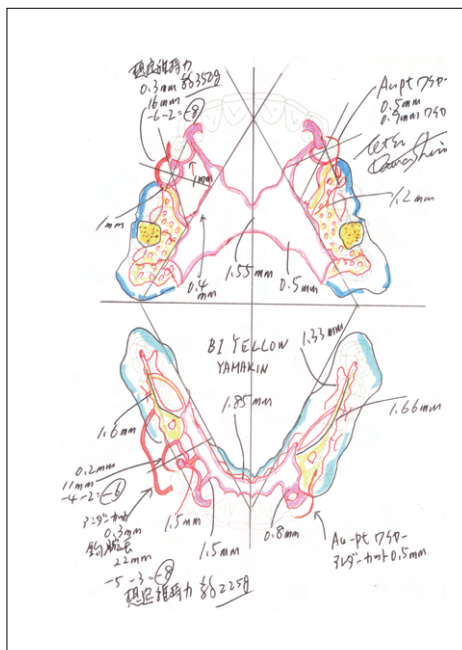
著者である川島 哲君は、以前から気になる存在であった。30年以上も前から「補綴構造設計」という新しい概念を提唱し、活動を続けたことにエールを送っていた。その後、日本アンチエイジング歯科学会のデンチャー部会を通じて、彼の仕事、思想、信念、情熱を知り、より親しくなった。

新刊『“創” 義歯の時代 Denture Designer への道 T.K.Design三角理論』は、長年にわたる彼のライフワーク「Cast Denture」の集大成とも言える良書である。どのページを切り取っても、川島君の歯科医療に対する愛情と情熱が感じられる。Denture Designerへの道は後進に対する心からのメッセージであろうが、医用工学、人工臓器、生命維持装置という義歯の使命や価値を考えた時、本書が世に出る意義は大きい。

良い建築物には優れた設計やデザインが不可欠だが、義歯にも同様のことが言えよう。「美しい義歯」は機能的にも優れているのだ。今問われている「清潔な義歯」の基本はデザイン、マテリアル、技工であり、そこに全力を尽くすことが必ず良い結果を生む。

本書の目を見張るような症例の数々を、単に川島名人の匠の結晶として捉えるのではなく、読者諸兄が少しでも自分のものとして近づき挑戦してほしいと思う。川島君の「魂の叫び」が、本書を通じて多くの人に伝わることを祈りたい。

なお本書には川島オリジナルの「構造設計図」が付録としてついている。額装して身近に架けることをお勧めする。



▲本書の付録である著者オリジナルの「構造設計図」